

## 第295回鳥取県内水面漁場管理委員会議事録

- 1 日時 令和6年10月29日（火）午前10時55分から午前11時30分まで
- 2 場所 倉吉シティホテル 3F マーガレット  
（鳥取県倉吉市山根543-7）
- 3 出席者 委員 : 安藤会長、寺崎委員、竺原委員、絹見委員、三谷委員、大谷委員  
山崎委員、下田委員  
鳥取県 : 水産振興局 鈴木局長  
漁業調整課 太田課長補佐、本田係長  
栽培漁業センター 田中主任研究員  
事務局 : 氏事務局長（県漁業調整課長兼任）  
清家次長（県漁業調整課課長補佐兼任）  
有田書記（県漁業調整課主事兼任）
- 4 傍聴者 0名
- 5 議事
  - (1) 鳥取県漁業調整規則の一部改正について（諮問事項）
  - (2) その他
    - ・令和6年度アユ産卵場造成の実施状況について（報告事項）

### 6 議事経過及び結果について

事務局長による開会の宣言、会長による挨拶の後、会長が議事録署名人として、三谷委員及び大谷委員を指名した。

#### 議事1 鳥取県漁業調整規則の一部改正について（諮問）

**〔改正に異議ない旨決議された。〕**

鈴木局長による諮問文読み上げの後、本田係長が資料1に沿って説明した。

〔安藤会長〕

ありがとうございました。

刑法の一部改正に伴って、関係規則の改正をすることの中で、鳥取県漁業調整規則の改正も、今回諮問がなされたということです。

新旧対照表といいましょうかね、改正前後の対照表の中で、その辺が、ここが変わりましたよってところが6ヶ所ぐらい表示されております。

これについて何か質問や御異議がありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

これは本規則だけじゃなくて、関係するすべての規則に関わることなので、そのあたりは事務局の方も十分精査されていると思います。

では、御異議なしとさせていただいてよろしいでしょうか。

[一同]

はい。

[安藤会長]

では、そのことを県の方に答申していただきたいと思います。よろしく申し上げます。

## **議事2 その他**

### **・令和6年度アユ産卵場造成の実施状況について（報告）**

太田課長補佐が資料2に沿って報告し、栽培漁業センター田中主任研究員がアユの産卵状況について説明した。

[安藤会長]

ありがとうございました。

順調に産卵が進みそうだとところでちょっと安心しております。それぞれの漁協さんの方で、又は水系の方で、今年の全般的な状況について、ちょっと様子を皆さんに御報告してもらえるとありがたいですが、千代川漁協さんの方からすいません、よろしく申し上げます。

[寺崎委員]

おかげさまで、回復しだしてから今年で3年目になります。近年にない、大変な量のアユの遡上が予想より多かったものですから、大きさ的には、ちょっと例年よりかは小ぶりかなとは思ったんですけども、かなり、もう最後まで皆さんが30、40当たり前に釣れるというような状況でして、県外、私のところで把握しているのでは横浜や東京からも情報を聞いてきたというようなこともございます。八頭町の旅館の方も横浜から来たという人がおられたということを知っておりますので、かなり広い地域からお越しいただいたということで、ずっと最後まで満員状態の川の状況でございます。大変感謝申し上げたいと思います。以上でございます。

[安藤会長]

では、天神川さんどうぞ。

[竺原委員]

天神川のアユですけども、例年よりかは小ぶりですけど、捕れたと聞いています。あと投網

の影響で竿釣りが厳しいなっていることを聞いていますので、その辺もまた検討します。

〔安藤会長〕

日野川さんどうでしょうか。

〔大谷委員〕

日野川はですね、天然遡上が大変多かった、プラス、自分のところで育てているのも放したので、ちょっと数が多すぎたかなと。通常でしたら、もう最後の方は、30センチ近いアユが捕れるんですけども、今年は最後の方まで大きいので27センチぐらいまで、26から27センチ。たぶん数が多すぎた。でも、全国的にも、何か今年はちょっと小ぶりだっていう話も聞いているので、その辺はちょっとよくわからないんですけども。ただ、数は大変捕れたということは聞いています。

〔安藤会長〕

ありがとうございました。こういう状況がしばらく続いて欲しいなと思います。

アユ以外に、例えば、近年はやっぱり海水温が上昇きみなのでサケがものすごく少ないっていうのは日本近海での状況なんですけれども、まあ、まだ今年は上がっていないと思うんですけども、ここ2、3年の様子はどうなんでしょう。サケはそれぞれの、例えば採卵のための捕獲だとか、やっておられると思いますけれども、サケの遡上数っていうのはどうでしょうか。わかっている範囲で、漁協さんの方とか関係者の方々に御発言いただければと思います。お願いします。

〔寺崎委員〕

すいませんが、あまりサケの方は把握しておりませんので、間違ったことを言ったらいけませんので、発言を控えさせていただきます。

〔安藤会長〕

天神川さんはどうですか。

〔竺原委員〕

僕もいまいちゃわかってないですけど、去年は数は少なかったですけど、卵を持ったサケが取れなかった、持っていないサケと聞いております。今年はまだ見られません。

〔大谷委員〕

サケの方は年々数がすごく少なくなっていて、それこそ私なんかが入った頃には、400本ぐらい採捕できていたんですけども、去年なんかは多分40本ぐらいしか取れてなくて、4年に1回、すごく少ない年が来るんですよ。なので、今年はもう少しましかなとは思ってるんですけども、一応姿がちょっと見えてるらしいです。ただ、まだ本数はこれからだと思います。

〔安藤会長〕

その他の委員さん方で、そういう情報を何かお持ちの方はいないでしょうか。

では、また、サケの方もちょっと心配ですので、できるだけ帰ってきてほしいなど。小学校の子供たちに話すのに、やっぱり実物の姿を見ながら話した方が気持ちが高ぶるので、なるべく見せてやりたいなと思っています。ありがとうございました。

その他、委員さん方の中で、何か皆さんで話したい協議議題とか話題とか、そういうことがあれば。

はい、ではどうぞ。

〔山崎委員〕

すみません、アユの産卵場造成のテグス張りのことについてちょっとお聞きしたいんですけど、今のこの実施状況を御説明していただいた中では、テグスというのはカワウとかに「ここだめだよ」ということを知らせるために、たくさん視認用のテープを付けてらっしゃるということだと思うんですけど、愛鳥家の方の中には、カワウとかサギ類をからめとるために張ってるみたいなことを言われる方もあって、日野川のやつを拝見しましたが、かなりの数の視認用のテープが張ってありますよね。なので、あれは鳥に「ここだめだよ」って知らせるために巻いてるってことで、最近になってあれを付け足したのではなく、例年ああいう風に設置してるという理解でよろしいですか。

〔寺崎委員、竺原委員、大谷委員〕

はい。

〔安藤会長〕

ありがとうございました。捕獲用ではなくて、回避させるというところで、侵入させないというのが目的ですので、その辺りは疑問を持たれている近くの方々にそういう説明をいただければと思います。

他にございませんでしょうか。

〔一同〕

はい。

〔安藤会長〕

ありがとうございました。

ないようですので、一応、議事につきましては2件はこれで終了します。

以上をもちまして、委員会の議事を閉じたいと思います。事務局にお返しします。

[氏事務局長]

ありがとうございます。以上をもちまして本日の委員会の方を終了させていただきます。  
本日はどうもありがとうございました。